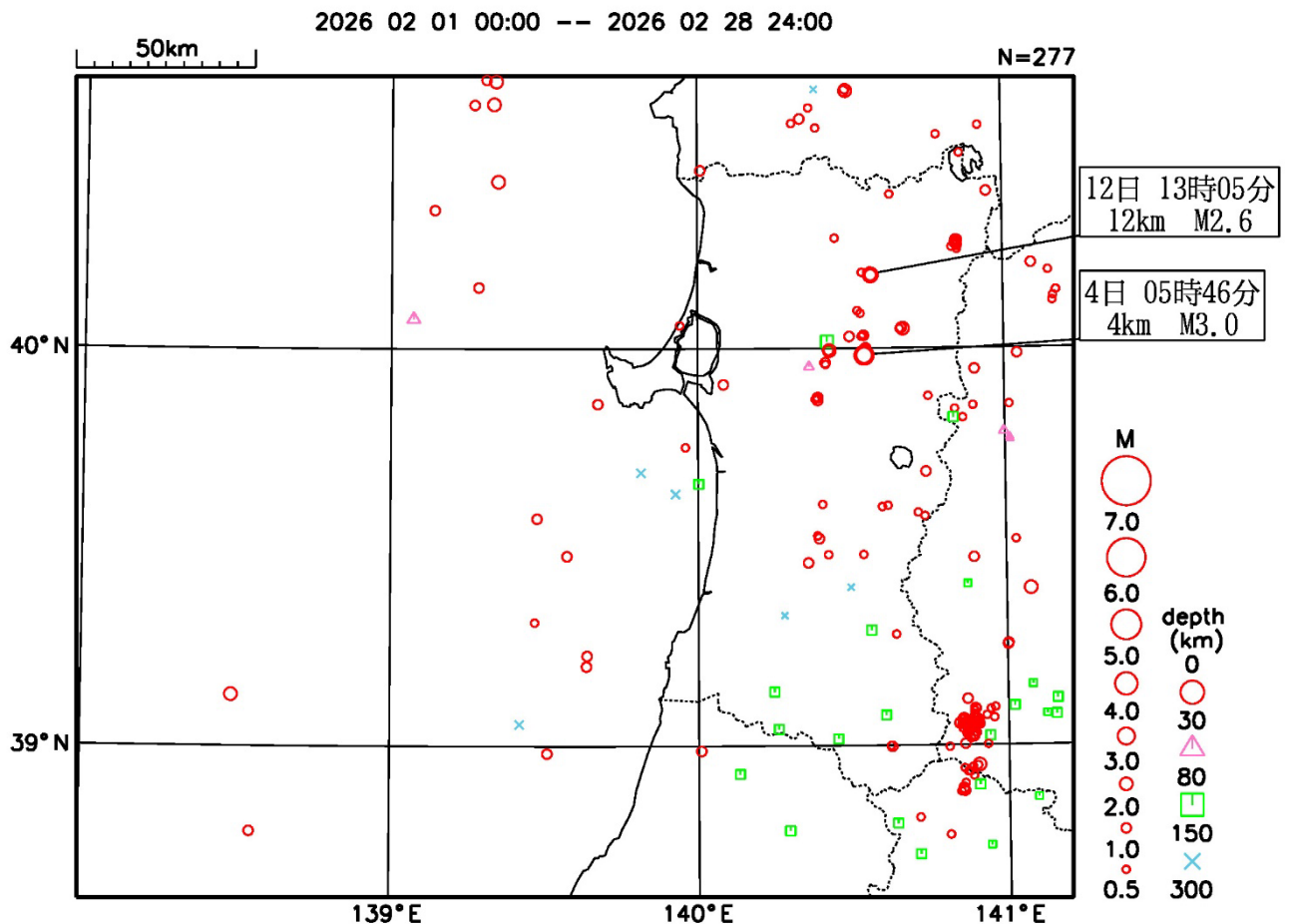


秋田県月間地震概況

秋田地方気象台

2026年2月

【震央分布図】



〈2月の地震概況〉

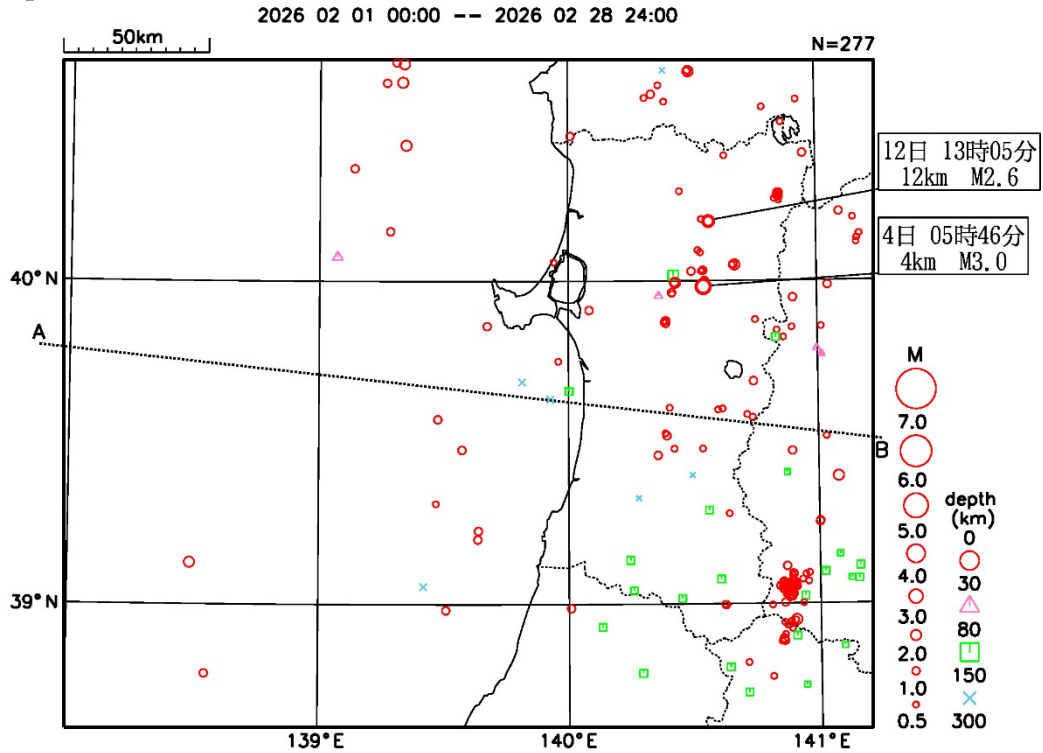
この期間、秋田県内で震度1以上を観測した地震は3回（1月：14回）で、そのうち図の範囲内を震源とする地震が2回、図の範囲外を震源とする地震は1回であった。

4日05時46分に秋田県内陸北部の深さ4kmでM3.0の地震が発生し、北秋田市で震度1を観測した。この地震は地殻内で発生した。

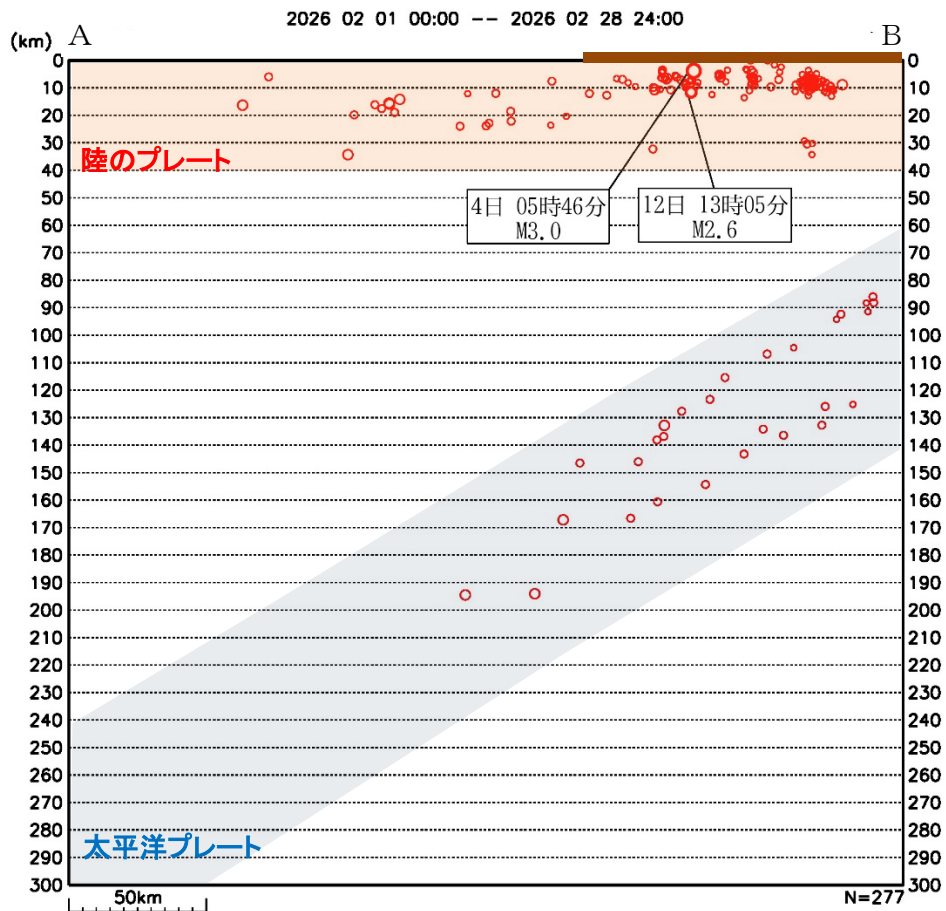
12日13時05分に秋田県内陸北部の深さ12kmでM2.6の地震が発生し、大館市で震度1を観測した。この地震は地殻内で発生した。

25日03時16分に岩手県沿岸北部（図の範囲外）の深さ54kmでM4.6の地震が発生し、岩手県で震度3を観測したほか、福島県を除く東北地方で震度2～1を観測した。県内では、横手市と大仙市、由利本荘市、仙北市、美郷町で震度1を観測した。この地震は太平洋プレート内部で発生した。

【震央分布図】



【断面図】 (震央分布図内の直線A－Bを断面として投影した震源の深さの分布)



- ※ 太平洋プレート及び陸のプレートの位置は、地震発生状況を考慮して描いた大まかなものである。
- ※ —— は陸地の大まかな位置を示している。
- ※ 陸地から離れた海域ほど、震源の深さ精度は良くない。
 なお、海域地殻内の地震の震源（日本海の浅い地震など）は、実際にはより浅いものが多いと考えられる。

秋田県で震度 1 以上を観測した地震の表

※今後の精査により、震源や震度のデータが追加されることがある。

期間 2026年2月1日～2026年2月28日

発震時	震央地名	北緯	東経	深さ	規模
各地の震度					
2026年02月04日05時46分	秋田県内陸北部	39° 58.9' N	140° 32.6' E	4km	M3.0
秋田県	震度 1 : 北秋田市阿仁水無*				
2026年02月12日13時05分	秋田県内陸北部	40° 11.0' N	140° 34.0' E	12km	M2.6
秋田県	震度 1 : 大館市比内町扇田*				
2026年02月25日03時16分	岩手県沿岸北部	39° 33.3' N	142° 00.8' E	54km	M4.6
秋田県	震度 1 : 由利本荘市石脇 由利本荘市岩谷町* 横手市雄物川町今宿 横手市中央町* 横手市大森町* 横手市大雄* 横手市山内土湫* 秋田美郷町六郷東根 大仙市刈和野* 大仙市北長野* 大仙市高梨* 仙北市西木町上桧木内* 仙北市田沢湖生保内上清水* 仙北市角館町小勝田*				

(注) 地震の震源要素等は暫定値であり、再調査により変更することがある。
各地の震度は秋田県のみを示し、*は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の観測点である。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを使用しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、2025年トカラ列島近海における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（平島、小宝島）、EarthScope Consortiumの観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

震度に関するQ & A

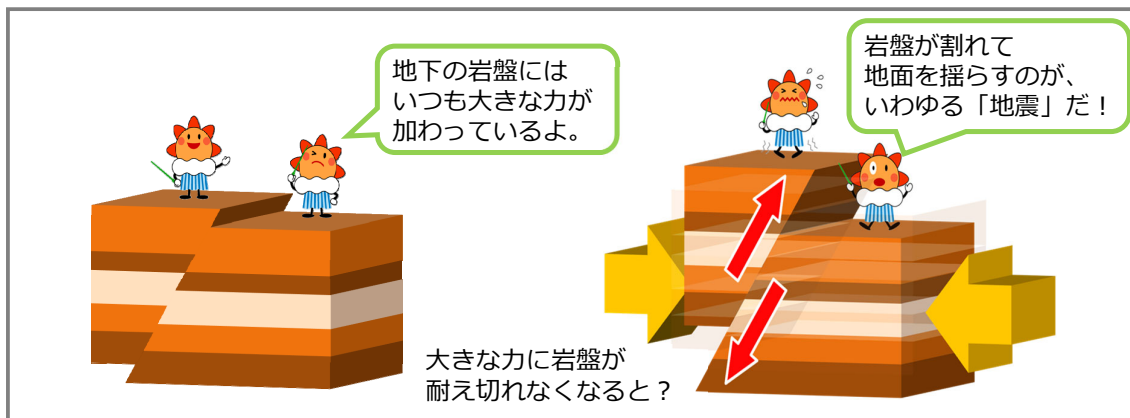
防災メモ

気象台には地震について様々な質問が寄せられます。その中でも、特に多くの質問が寄せられる「震度」に関する質問について、その代表的な例をQ & A形式で解説します。

Q. 震度とマグニチュードは何が違うのですか？

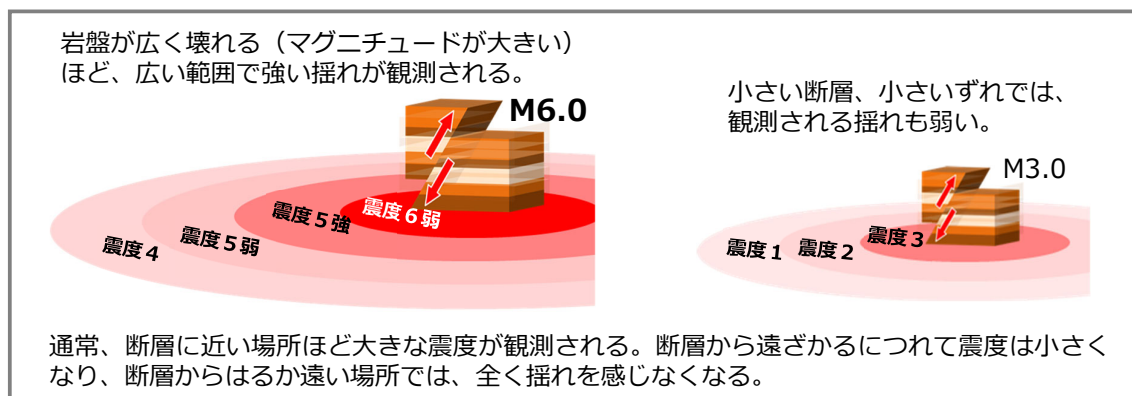
A. 震度は「揺れの強さ」を示す指標、マグニチュードは「地震の規模」を示す数値です。

地球の表面はプレートと呼ばれるいくつもの大きな岩盤に覆われています。この岩盤には大きな力が加わっていて、その力に耐えきれずに岩盤の一部が割れてずれ動くことで地震が発生します（下図参照）。このときにずれ動いた場所を断層と呼びます。



マグニチュードは地震の規模を表す指標で、マグニチュードが大きな地震ほど、断層の大きさやズレが大きくなります。

震度は、その場所での揺れの強さを表す指標です。一般的に、震源に近い場所ほど、あるいはマグニチュードが大きいほど、観測される震度は大きくなります（下図参照）。



Q. 揺れを感じたが、震度情報が発表されなかった。感じた揺れは気のせいでしょうか？

A. ごく局所的な揺れのために、震度観測点では揺れを観測していない可能性があります。必ずしも「気のせい」とは限りません。

秋田県内には、2026年3月現在、85の震度観測点が、県内全ての市町村に1つ以上となるように配置されています。それでも、内陸のごく浅い場所で規模の小さな地震が発生すると、震央周辺のごく狭い範囲でしか揺れを感じないため、その範囲に震度観測点がない場合、地震が発生していたとしても、気象庁から情報は発表されません（下図参照）。



Q. 気象庁が発表する震度に比べて、我が家の周りにはいつも揺れが強い気がするのですが…

A. お住まいの場所の地盤によっては、地震の揺れが強くなる場合があります。

地震による揺れの強さは、その場所の地盤によっても変わります。地盤が軟弱な場所は、地盤が頑丈な場所に比べて揺れやすくなる傾向にあります（下図参照）。近い場所であっても地盤の強弱は異なる場合があるため、同じ町内でも場所によって震度が1階級程度異なる場合があります。特に、震度観測点から離れた場所にお住まいの場合や、場所が近くても、震度観測点の地盤とお住まいの場所の地盤が大きく異なる場合、気象庁が発表した震度と実際の体感とが異なる場合があります。



そのほか、地震の揺れの周期が長い場合、高層ビルの高層階では、低層階に比べて強い揺れに見舞われることがあります。また、建物の特性によっては、同じ建物内でも住んでいる階や場所によって揺れの強さが異なる場合もあります。

気象庁ホームページでは、このほかにも様々な質問にお答えしています。地震以外にも、様々な項目がありますので、気になる方は、気象庁ホームページをご覧ください。

『よくある質問集』 <https://www.jma.go.jp/jma/kishou/knownow/faq/index.html>

『震度について』 <https://www.jma.go.jp/jma/kishou/knownow/shindo/index.html>